

第29回長崎県子ども舞台芸術祭典

作品紹介

- ①公演可能日
- ②上演団体構成人数
- ③最大観客数
- ④上演時間

ふらっと・ぶらっと



(劇団風の子九州)

旅好きなふらっとさんとぶらっとさん。二人のトランクを開けると楽しい気持ちと一緒に春の陽ざしのようなお芝居のはじまり、はじまり！そのトランクの中身は魔法の世界！いったい何が出てくるのでしょうか……！

- ① 7/18(木)~8/1(木)
- ② 2名
- ③ 200名
- ④ 60分

☆祭典を取り組んで
～地域の声より～

対馬中地区では14年ぶりの開催、私たちの団体は初参加でしたが、企画当初から公演当日まで祭典担当のスタッフさんの温かいご協力で、企画・打ち合わせ・開催場所探し等の準備も順調に進み、またZOOM 事前交流会に参加させて頂いたことで、より楽しく安心して取り組むことができました。

準備万端の公演当日でしたが、線状降水帯による悪天候に見舞われ、不安な開催となりました。そんな中、50人を超える方が無事にご来場してくださり、安堵と共に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

劇では、サクラの冒険の旅に引き込まれて、自然と手拍子が鳴り、ひょうきんな動物たちに歓声や笑い声が上がリ、生の舞台に素直な喜びを表現するこどもたちの姿を見ることができ、スタッフにとっても忘れられない貴重な経験となりました。

社会福祉法人 梅仁会
豊玉ふれあい広場(対馬市)

一県内すべての子どもたちに
生の舞台芸術の感動と豊かな地域をー

長崎県子ども舞台芸術祭典は、子どもと舞台芸術との出会いを通して子どもたちが豊かに生き生きと育つ地域づくりをすすめています。

2023年開催の第28回長崎県子ども舞台芸術祭典では、県内各地で35主催38ステージが取り組まれ4,325名の参加がありました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで元の生活に戻りつつある中、少しの不安はありながらも、今まで実施を見送らざるをえなかった実行委員会が複数再開し、更に2つの実行委員会が新しく立ち上がりました。

自分たちが生活している身近な場所で、友だちや顔見知りの地域の人たちと一緒に観ている子どもたちは、今まで我慢していた感情が一気に開放され、とても楽しそうに生き生きとしていました。その姿は演じている役者だけでなく周りの大人にも大きな力を与えてくれました。この祭典を通して文化芸術の力で、子どもたちが安心して育つよりよい地域づくりのために見守り合う大人たちのつながりを広げていければと思っています。

NPO法人 長崎県子ども劇場連絡会
代表理事 後田 晶子

へんてこげきじょう

(人形劇団京芸)



ちよっとへんてこな3人による、たのしくゆかいな人形劇。『へろへろおじさん』『おなまえダンス』『ねずみの歯医者はじめます』の3本立てです。

- ① 7/12(金)~17(水)、7/29(月)~8/3(土)
- ② 3名
- ③ 180名
- ④ 50分

ともだちや

(人形劇団むすび座)



たくさんのこどもたちから愛されている絵本、「おれたち、ともだち！」シリーズから2作品を人形劇にしました。「え～、ともだちやです。ともだちはいりませんか？」キツネくんと友だちになってくれる人はいるのかな？

- ① 7/18(木)~8/1(木)
- ② 2名
- ③ 180名
- ④ 50分

肩掛け人形芝居 さんまいのおふだ

(人形芝居 燕屋)



ぼくは子どもたちの大好きなお話を、スリル満点、抱腹絶倒、奇想天外の人形劇にしました。ひとりの人形つかいが、人形だけでなく、ハーモニカ、布、木魚、番傘をつかい、お客さんまで…大道芸の雰囲気をお楽しみください。

- ① 7/18(木)~8/1(木)
- ② 1名
- ③ 150名
- ④ 55分